

[成果情報名] リモニウムの12月出荷作型における苗冷蔵ポリポットの小サイズ化

[要約] リモニウムの苗冷蔵12月出荷作型において、7.5cmポリポットを使用しても冷蔵処理の効果が得られる。

[キーワード] リモニウム、12月出荷作型、苗冷蔵、開花調節

香川農試・花き担当

[連絡先] 電話 087-889-1121

[区分] 近畿中国四国農業・花き

[分類] 技術・参考

[背景・ねらい]

12月出荷作型では、通常、直径12cmのポリポットを用いて苗冷蔵を行っているが、12cmポリポットでは1回の冷蔵で処理可能なポット数が少ないためにコスト高になり、1作当たりの作付け面積が限られる。

そこで、苗購入時の7.5cmポリポットをそのまま使用、もしくは、セル苗を7.5cmポリポットに鉢上げして、冷蔵庫の効率的な利用を図るため、小サイズポットでの冷蔵効果を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 供試品種において、従来の冷蔵処理方法で、7.5cmポリポットを使用しても枯死株はなく、抽台率は100%となる(表1)。
2. ポリポットの大きさの違いによる平均抽台日は、品種によって異なるが、冷蔵時のポットサイズを12cmから7.5cmとすることで、「京錦」では1週間程度遅れ、「イチゴポンポン」では16日早まる(表1)。

[成果の活用面・留意点]

1. 供試品種以外の品種については、苗冷蔵の効果及びポットサイズの影響が不明であるため、技術導入前に適性を調査する必要がある。
2. 定植後の高温遭遇は、冷蔵処理の効果を消失させる可能性があるため、平均気温が25℃以下になって定植する。
3. 冷蔵処理中は、冷蔵庫内温度を5℃に保ち、電照は、白色蛍光灯を用いて16時間日長とし、苗との距離は15cm程度とする。

[具体的データ]

表-1 12月出荷作型に適する品種のポットの大きさが抽台に及ぼす影響

品種名 ¹⁾	ポリポット サイズ	枯死株率 ²⁾ (%)	抽台率 ³⁾ (%)	平均抽台日 (月/日)
イチゴポンポン	7.5cm	0	100	10/17
	12cm	0	100	11/2
スーパーダイアナ (高性タイプ)	7.5cm	0	100	10/6
	12cm	0	100	10/6
スーパーガーネット	7.5cm	0	100	10/14
	12cm	0	100	10/16
NA2	7.5cm	0	100	10/13
	12cm	0	100	10/11
NA12	7.5cm	0	100	10/9
	12cm	0	100	10/10
京錦 (UH-5A)	7.5cm	0	100	11/8
	12cm	0	100	11/2
京錦 (UH-5B)	7.5cm	0	100	11/7
	12cm	0	100	10/31
京錦 (UH-5C)	7.5cm	0	100	11/4
	12cm	0	100	11/2

育苗：2006年6月16日～8月14日

冷蔵処理期間：2006年8月15日～9月19日

冷蔵処理方法：5±1℃、16時間日長、100V 18W白色蛍光灯使用し苗との距離15cm程度

定植日：2006年9月20日

栽植方法：株間40cm、条間40cm、2条植え

1) 「イチゴポンポン」、「スーパーダイアナ」、「スーパーガーネット」はK社、「NA2」、「NA12」はF社、「京錦」はTS社

2) 枯死株率=生存株数/定植株数×100

枯死株調査は、定植日から2006年11月13日まで隔日調査

3) 抽台率=抽台株数/生存株数×100

抽台調査は、定植日から2006年11月13日まで隔日調査

[その他]

研究課題名：リモニウムの栽培技術に関する試験

予算区分：県単

研究期間：2002～2006年

研究担当者：山本和人、瀬尾龍右